

# 西湘・小田原で一七七周年 水野浩理事長・学校長に聞く 学園に根づく「一宮尊徳の「報徳四訓」

## 学校法人新名学園 旭丘高等学校

### 平成から新元号へ 日中高校生交流での学び

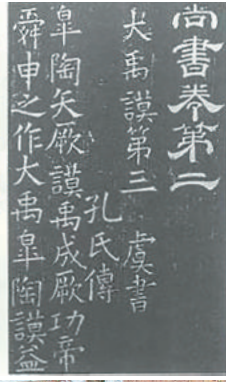
—新元号の4年目となる西暦2022年には120周年を迎えます。

「平成」の由来は中国の歴史書である『尚書』(ようじょう)の「地平天成(ちへいてんせい)」です。本校では、創立110周年記念事業として始まった日中高校生交流で、生徒とともに中国の西安碑林博物館を訪れました。その第一室に設置されている石刻『開成石經(かいせいせきけい)』に収められた『尚書』大禹謨(だいうぼ)の中に中国古史夏王朝の禹王の功績にかかわって用いられた「地平天成(地上は安定やかに治まり、天も時節が順調にめぐる)の文字を読み取った経験があります」

「生徒たちの感想は？」  
「平成と共に明治・大正・昭和など日本の元号の源流が中国の碑文にあることに驚きの声をあげていました。かつては「幻の王国」とも言われた夏



創立者新名百女史像の前に立つ水野浩理事長・学校長



大禹謨第三 古虞書 孔氏傳

王朝は、発掘によって実在が確かめられています。その初代禹王は治水の神様とも称えられ、西安碑林博物館の第四室にはその功績を讃えたとされる『峒嶼碑(とうとうひ)』が展示され、日本の酒匂川上流にも、治水神としての禹王を祀る文命「東堤碑」「西堤碑」が建てられています」

「日中高校生交流は、両国の生徒に様々な学びの機会となってきたのです」  
「生徒が最も感銘を受けるのは、人との触れ合いです。【最初に中国に行く」と聞いたときは、正直不安でした。新聞やユー



(上)『尚書』・大禹謨 (下)文命東堤碑・酒匂川・大口。日中高校生交流。説明者：大脇良夫氏(治水神・禹王研究会会長)

「旭丘の建学の精神は二宮尊徳の『報徳四訓』を基本にしていると聞きます」  
新名百女先生が教育方針として掲げたのが、尊徳の報徳四訓(至誠・勤勞・分度・推譲)でした。「無くてはならぬ指折り仲間(一人となれ)」という校訓にあるように、地域

「報徳四訓」の教え  
「旭丘の建学の精神は二宮尊徳の『報徳四訓』を基本にしていると聞きます」  
新名百女先生が教育方針として掲げたのが、尊徳の報徳四訓(至誠・勤勞・分度・推譲)でした。「無くてはならぬ指折り仲間(一人となれ)」という校訓にあるように、地域

### 「一宮尊徳の「報徳四訓」

「自立して得たものを社会に還元する。推譲の重要性も説かれていた」

「関東大震災では小田原も大きな被害を受けましたが、新名女学校も被災は免れたものの校舎が壊れました。その復興と学校再興にあたって、卒業生が婚家に遠慮しながら月々の小遣いを2年間ため、浄財として資金を拠出したという逸話も日頃からの「推譲」の教えが根付いていた証だと思われま

「旭丘の建学の精神は二宮尊徳の『報徳四訓』を基本にしていると聞きます」  
新名百女先生が教育方針として掲げたのが、尊徳の報徳四訓(至誠・勤勞・分度・推譲)でした。「無くてはならぬ指折り仲間(一人となれ)」という校訓にあるように、地域

「旭丘の建学の精神は二宮尊徳の『報徳四訓』を基本にしていると聞きます」  
新名百女先生が教育方針として掲げたのが、尊徳の報徳四訓(至誠・勤勞・分度・推譲)でした。「無くてはならぬ指折り仲間(一人となれ)」という校訓にあるように、地域

### 「Think Globally, Act Locally」

「Think Globally, Act Locally」

「Think Globally, Act Locally」

「Think Globally, Act Locally」

「Think Globally, Act Locally」

### 「一宮尊徳の「報徳四訓」

「一宮尊徳の「報徳四訓」

「一宮尊徳の「報徳四訓」

「一宮尊徳の「報徳四訓」

「一宮尊徳の「報徳四訓」

### 「一宮尊徳の「報徳四訓」

「一宮尊徳の「報徳四訓」

「一宮尊徳の「報徳四訓」

「一宮尊徳の「報徳四訓」

「一宮尊徳の「報徳四訓」

2つの学科・2つの校地  
小田原のまちが教室  
学校法人新名学園  
旭丘高等学校  
http://www.niina-gakuen.jp/